

日台観光推進協議会

NEWS RELEASE

令和6年6月4日
日台観光推進協議会事務局
公益社団法人日本観光振興協会
交流促進部門 担当:高橋・近藤
TEL 03-6435-8334 Email: summit@nihon-kankou.or.jp

一般社団法人日本旅行業協会
海外旅行推進部 担当:千葉・稲田
TEL: 03-3592-1274 Email: jotc@jata-net.or.jp

双方向交流の持続的発展にむけて 「2024 日台観光サミット in 高雄」を開催しました

日台観光推進協議会(会長 山西健一郎、事務局:公益社団法人日本観光振興協会・一般社団法人日本旅行業協会)は、台湾側のパートナーである台日観光推進協議会(会長 葉 菊蘭、事務局:財団法人台湾観光協会)と「2024 日台観光サミット in 高雄」を5月31日(金)に台湾の高雄市において開催し、持続可能な観光と双方向のバランスの取れた交流の発展にむけて ①観光地や移動サービスのデジタル化の推進 ②人流データの把握・分析による観光品質の向上 ③AI等の先端技術の活用による旅行商品の購入利便性および業務プロセスの合理化 ④地域文化の多様性と環境保全の価値の強調による相互訪問および再訪のモチベーション向上等を軸とした「日台観光サミット・高雄宣言」に合意しました。

「日台観光サミット」は、台湾からの訪日旅行・日本からの訪台旅行双方の促進と相互交流人口の拡大を目標として、平成20(2008)年に日台双方の旅行業界の経営者や観光業界のトップが集い、第1回の会議を台湾の台北市で開催しました。その後、日本と台湾で交互に開催され、本年が15回目の開催となりました。

次回は2025年に日本の鳥取県で開催される予定です。

会議の概要については、別紙をご覧ください。

<別紙1> 「2024 日台観光サミット in 高雄」開催概要、高雄宣言、サミットの様子(写真)

<別紙2> これまでの日台観光サミットの概況と日台間双方向交流人口の推移

「2023 日台観光サミット in 高雄」開催結果概要

1. 日時 2024年5月31日（金） 8:30~12:00
2. 場所 高雄漢来ホテル 9階 金龍庁
3. 主催 日台観光推進協議会・台日観光推進協議会
4. テーマ「SDGsにおける日台観光の新たな魅力について」
5. 意見交換議題
 - ・テクノロジーの活用によるスマートツーリズムの進め方
 - ・持続可能な可能な互惠性をもった交流の在り方について
6. 主な出席者

<日本側>

山西健一郎（日台観光推進協議会会長・日本観光振興協会会長）
田端 浩（観光庁参与）
奥 正史（日本台湾交流協会高雄事務所所長）
伊与田美歴（日本観光局理事）
亀井 一賀（鳥取県副知事）
小谷野 悦光（日本旅行業協会副会長）
ほか、地方自治体・観光協会、観光業界、旅行関係者等 100名

<台湾側>

葉 菊蘭（台日観光推進協議会会長・台湾観光協会会長）
周 永暉（交通部観光庁長官）
林 信任（交通部観光庁次長）
陳 忠正（台湾日本交流協会総領事）
陳 其邁（高雄市市長）
鄭 憶萍（台湾観光協会東京事務所長）
ほか、台湾側観光業界、旅行関係者、運輸機関、メディア等 110名

日台合計 210名

7. 日台観光サミット高雄宣言(日本語)

日台観光サミット 高雄宣言

日台観光推進協議会(台日観光推進協議会)は2024年5月31日、台湾・高雄市において「2024日台観光サミット in 高雄」を開催し、「SDGsにおける日台観光の新たな魅力について」について議論を行った。

「持続可能」をグローバル観光業界における重要な指標とし、本日日台双方は観光分野において持続可能な発展を継続的に推進することを決議した。国際観光旅客数の成長趨勢に合わせ、日台双方の健全かつバランスの取れた訪問・交流の推進を軸とし、コロナ前の相互訪問者数700万人を超えるよう促進する。

具体的な施策として、日台双方は観光地や移動サービスのデジタル化の推進、および人流データの把握・分析による観光品質の向上に取り組むとともに、AI等の先端技術の活用を通じてデジタルサービスの効率を高め、旅行商品の購入利便性および業務プロセスの合理化を創出する。

同時に、持続可能の概念を交通機関の利用機会や旅行商品に取り入れ、地域文化の多様性と環境保全の価値を強調することで、日台双方の旅行者に相互訪問および再訪のモチベーションを高めていくこととする。

次回の「日台観光サミット」は、日本・鳥取県で開催することに合意し、日台双方の観光産業界の深い友情と豊富な提携経験をもとに、観光交流の更なる高みを目指し、共存共栄の創出に取り組んでいくものとする。

2024年5月31日

日台観光推進協議会
公益社団法人日本観光振興協会
会長 山西健一郎

台日観光推進協議会
財団法人台湾観光協会
会長 葉 菊蘭

7. 日台観光サミット、高雄市主催エクスカージョンの様子



これまでの日台観光サミットの概況と日台間双方向交流人口の推移

1. 開催のきっかけとこれまでの経緯

日台観光サミットは 2008 年に当時約 250 万人だった日台間の双方向交流人口を 300 万人に拡大することを目指し、台北市で初めて開催された。2013 年に目標を達成した以降も順調に伸長し、2019 年「日台観光サミット富山宣言」では、2020 年までに 800 万人の実現を目指すとしたが、2020 年以降、新型コロナウイルス感染症拡大により海外渡航者数は大きく落ち込んだ。現在、台湾からの訪日旅行は順調に回復しているものの、日本からの訪台については、引き続き回復が遅れている状況である。

昨年、日本愛知県で開催した「2023 日台観光サミット in 愛知」では、2025 年の相互交流人口を 2019 年度水準である 700 万人に戻すことを目指し、より緊密な連携・協力を図ることで一致した。

2. これまでの日台観光サミットの開催状況について

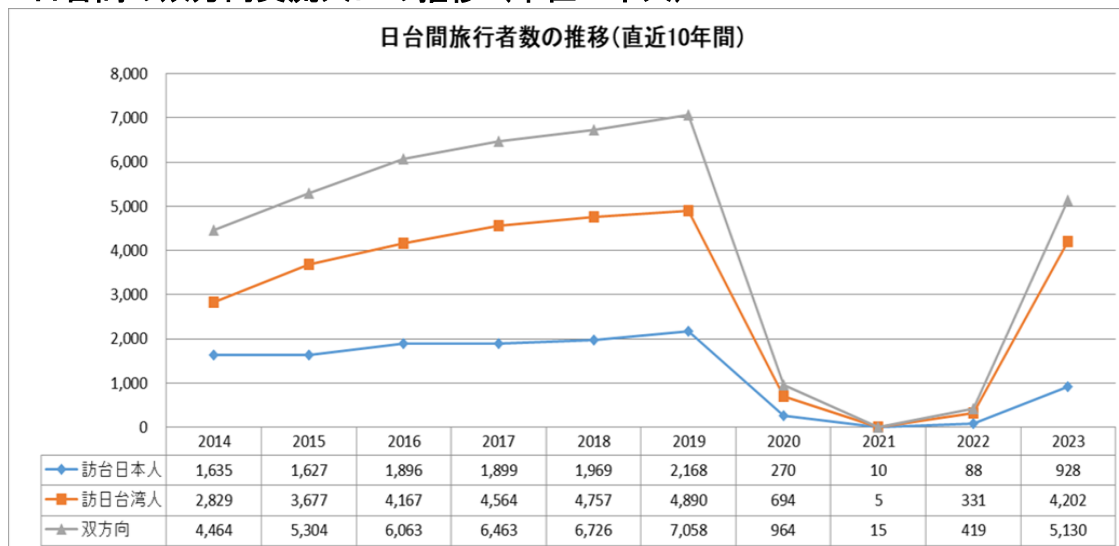
<台湾開催>

第 1 回	・ 2008 年 3 月	台北市
第 3 回	・ 2010 年 3 月	南投県
第 5 回	・ 2012 年 7 月	花蓮県
第 7 回	・ 2014 年 5 月	屏東県
第 9 回	・ 2016 年 5 月	宜蘭県
第 11 回	・ 2018 年 5 月	台中市
第 13 回	・ 2022 年 9 月	桃園市
第 15 回	・ 2024 年 5 月	高雄市

<日本開催>

第 2 回	・ 2009 年 3 月	静岡県
第 4 回	・ 2011 年 7 月	石川県
第 6 回	・ 2013 年 5 月	三重県
第 8 回	・ 2015 年 5 月	山形県
第 10 回	・ 2017 年 5 月	四国
第 12 回	・ 2019 年 5 月	富山県
第 14 回	・ 2023 年 9 月	愛知県

3. 日台間の双方向交流人口の推移（単位・千人）



●直近 1 年間の状況（2023 年 3 月～2024 年 2 月）

訪台日本人数： 1,050 千人（2019 年度比 51%）
 訪日台湾人数： 4,690 千人（2019 年度比 96%）
 双方向交流人数：5,740 千人（2019 年度比 83%）

※台湾→日本の統計については、日本政府観光局（JNTO）の統計による
 ※日本→台湾の統計については、台湾交通部観光局の居住地別統計による